

深谷市子ども・子育て会議
◎用語と定義について

用語	定義
量の見込み	需要量（ニーズ量）の見込みを指します。
確保の方策	需要量の見込み（量の見込み）に対して、どのように供給を確保しているかの方法を指します。 年次計画においては、主に <u>利用定員</u> を指します。
特定教育・保育施設	市町村長が施設型給付の支給に係る施設として確認する「 <u>教育・保育施設</u> 」を指します。そのため、施設型給付を受けず、私学助成を受ける私立幼稚園は含まれません。（子ども子育て支援法 第27条）
※施設型給付	認定こども園、幼稚園、保育所を通じた共通の給付
※教育・保育施設	認定こども園、幼稚園、保育所（保育園）を指します。
特定地域型保育事業	市町村長が地域型保育給付の支給に係る事業を行う者として確認する事業者が行う、 <u>小規模保育</u> 、家庭的保育、居宅訪問型保育、事業所内保育を指します。（子ども子育て支援法 第29条） このうち、深谷市内では、小規模保育室のみが存在します。
※地域型保育給付	小規模保育等への給付
※小規模保育	定員19人以下の3歳未満児を対象とした民間保育施設です。一定の基準を満たした施設に対し、市が認可しています。 深谷市内の小規模保育室は、全て保育従事者の全員が保育士の資格を有する「A型」となります。
1号認定	満3歳以上で、学校教育のみ（保育の必要はない）
2号認定	満3歳以上で、保育の必要性がある
3号認定	満3歳未満で、保育の必要性がある
認定こども園	教育・保育を一体的に行う施設を指します。 <u>幼保連携型</u> など4つのタイプがあります。 深谷市内には、現在3か所の認定こども園があります。
※幼保連携型認定こども園	小学校就学前の満3歳以上の子どもを対象とする幼児期の学校教育及び、家庭における乳幼児を対象とした保育を一体的に提供する施設を指します。
利用者支援事業（特定型）	市の窓口で、子育て家庭から保育サービスに関する相談に応じ、地域における保育所や各種保育サービスに関する情報提供や、利用に向けての支援などを行います。
利用者支援事業（母子保健型）	保健センターで、保健師等の専門職が、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する妊産婦等からのさまざまな相談に応じます。 また、その状況を継続的に把握し、支援を必要とする人が利用できる母子保健サービス等の情報提供を行うとともに、関係機関と協力して支援プランの策定などを行います。
地域子育て支援センター	子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場です。保育所など地域の身近な場所で、乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供などを行います。
ファミリーサポートセンター	育児の援助を受けたい人（依頼会員）と、育児の応援をしたい人（協力会員）が、お互い会員となって一時的に子どもを預かる会員組織です。